

収穫の秋！品種ごとと適期を見極め、 適期内刈取り・適正乾燥調製で最高品質仕上げ！

○早生～中生品種「はえぬき」「雪若丸」登熟が進んでいる状況
※7月中に出穂した圃場は、出穂後の高温による胴割粒の発生が懸念されるので要注意！

➡ **速やかに刈取り準備をスタート！**

適期内の刈取りで品質確保に努めましょう！



今後の天候次第では、現在の登熟の差が縮む可能性も。
圃場ごと登熟の進み具合をよく観察し、適期を見極めましょう！

- 晩生品種「つや姫」は中生品種と登熟進度に差がみられる
- 刈取り開始が遅れると、適期内の刈取りが困難に
- 刈遅れは胴割粒の発生に直結！積算気温による刈取り時期の目安を基本に
➡ **適期の晩限「8/8 出穂：1200℃到達日 10/6」までの刈取りを徹底しましょう！**

○刈取りは、出穂後の積算気温（下表）を目安とし、品種、ほ場ごとに

①刈始めの青糶歩合、②糶水分（25%以下）、③枝梗の黄化（3分の2以上）

等を確認し、刈取開始時期を見極めましょう。

出穂後積算気温による刈取適期の目安（平坦：高畠アメダス、中山間：高峰アメダス）

品種名	積算気温	刈始めの青糶歩合	出穂期（本年）	刈取り時期の目安
ひとめぼれ	950～ 1,100℃	15%	8月1日頃	9月11日～9月18日
はえぬき（平坦）	950～ 1,200℃	20%	8月3日頃	9月14日～9月26日
はえぬき（中山間）			8月5日頃	9月19日～10月4日
雪若丸	950～ 1,200℃	20%	8月3日頃	9月14日～9月26日
つや姫	1,000～ 1,200℃	15%	8月8日頃	9月24日～10月6日
コシヒカリ	1,000～ 1,200℃	15%	8月8日頃	9月24日～10月6日

※9月2日まで実測値、以降は平年値の平均気温を使用。

適正な乾燥・調製「1.90mm網目選別」で高品質米の最終仕上げ！

- 収穫後は、速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風・循環を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。
- 高水分粳（水分 25%以上）を急激に乾燥すると胴割れしやすくなるので注意が必要です。青粳が多い（粳水分のバラつきが多い）場合は、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。
- 粳すりは、粳を十分放冷し、適正水分であることを確認してから行います。粳すり前に必ず試しすりを行い、肌ずれや胴割れの発生を防ぎましよう。
- 良質米生産のために、1.90mm網目（LL）以上、「雪若丸」は1.95mm網目厳守！**

【農業技術普及課 生育診断圃 穂揃期の生育・登熟状況】

品種	地域	年次	出穂期	穂数 (本/m ²)	1穂粳数 (粒)	m ² あたり粳数 (百粒/m ²)	葉色 (SPAD)	登熟歩合(%) 8月30日現在
はえぬき	川西町 上小松	R3	8/2	564	67.9	383	33.6	65.6
		平年	8/5	574	69.7	399	35.2	41.2
		平年比・差	-3	98	97	96	-1.6	+24.4
つや姫	川西町 上小松	R3	8/8	482	68.0	328	31.8	20.3
		平年	8/10	462	72.5	335	32.9	25.4
		平年比・差	-2	104	94	98	-1.1	-5.1
雪若丸	高島町 元山崎	R3	8/1	489	64.7	316	35.8	75.5
		指標	8/2	560	54.0	300	36.0	-
		指標比・差	-1	87	120	105	-0.2	-

- 出穂は、平坦部「はえぬき」「雪若丸」が8月3日頃、「つや姫」、「コシヒカリ」が8月8日頃と概ね平年より3日早くなりました。
- m²あたり粳数は各品種とも、平年並〜やや多い状況ですが、圃場間でバラつきがみられます。登熟進度は「はえぬき」「雪若丸」は平年より進んでおり、つや姫はやや緩慢な状況です。

雑草イネの発生に注意！

穂を触ったら粳がポロポロ落ちる、

玄米に赤米が混じる場合は雑草イネの可能性大！

置賜地域で主に赤いノゲが特徴の「背高型」と栽培品種とほぼ見た目が一緒の「擬態型」の2種の雑草イネが確認されています。

雑草イネを見つけた場合は、すぐに普及課やJAにご相談ください。



STOP！農作業事故！～秋季農作業事故防止強化期間中～

- 収穫期はコンバインの事故が多発します。補助者の事故にも要注意。
- コンバインの詰まり除去や修理の際は、必ずエンジンを止めてから行いましょう。